

総務委員会会議録

- 1 期 日 平成29年2月27日(月)
- 2 会 場 第3委員会室
- 3 開会時刻 午前9時46分
- 4 閉会時刻 午後0時06分
- 〈休憩 11:40 ~ 11:45〉
- 5 出席者
- | | | | |
|-----|------|------|------|
| 委員長 | 鈴木久男 | 副委員長 | 野口安男 |
| 委員 | 内藤澄夫 | 委員 | 栗原通泰 |
| 〃 | 鷺山喜久 | 〃 | 二村禮一 |
| 〃 | 窪野愛子 | 〃 | 松本均 |
- 当局側出席者 市長、総務部長、総務部付参与、企画政策部長、
危機管理監、消防長、水道部長、会計管理者、
南部行政事務局長、議会事務局長、所管課長ほか
- 事務局出席者 議事調査係 鈴木康倫
- 6 審査事項
- ・議案第34号 平成28年度掛川市一般会計補正予算(第4号)について
 - 第1条 歳入歳出予算の補正
 - 歳入中 所管部分
 - 歳出中 第1款 議会費
 - 第2款 総務費
 - 第8款 土木費(第3項4目、第4項6目)
 - 第9款 消防費
 - 第10款 教育費(第5項2目のうち所管部分)
 - 第12款 公債費
 - 第2条 繰越明許費
 - 第3条 債務負担行為の補正
 - 第4条 地方債の補正
 - ・議案第16号 掛川市ふるさと応援基金条例の制定について
 - ・議案第38号 平成28年度掛川市公共用地取得特別会計補正予算(第1号)について
 - ・議案第40号 平成28年度掛川市簡易水道特別会計補正予算(第1号)について
- 7 会議の概要 別紙のとおり

以上のとおり、報告いたします。

平成29年 2月27日

市議会議長 竹嶋善彦様

総務委員長 鈴木久男

7 会議の概要

平成29年2月27日（月）午前9時46分から、第3委員会室において全委員出席のもと開催。

1) 委員長あいさつ

2) 当局（市長）あいさつ

3) 付託案件審査

[9:50 ～ 11:40]

- ①議案第34号 平成28年度掛川市一般会計補正予算（第4号）について
- 第1条 歳入歳出予算の補正
 - 歳入中 所管部分
 - 歳出中 第1款 議会費
 - 第2款 総務費
 - 第8款 土木費（第3項4目、第4項6目）
 - 第9款 消防費
 - 第10款 教育費（第5項2目のうち所管部分）
 - 第12款 公債費
 - 第2条 繰越明許費
 - 第3条 債務負担行為の補正
 - 第4条 地方債の補正

第2款 総務費
第12款 公債費

第2条 繰越明許費
第3条 債務負担行為の補正
第4条 地方債の補正

[財政課、説明 9:50 ～ 9:56]

[質 疑 9:57 ～ 9:59]

○栗原通泰委員

18頁から28頁までの交付金について、見込みより大幅に金額の差が出てるが要因は。

●高柳総務部付参与

県の最終予算額見込みを基に市の分を見込んでいる。特に大きいのは、22頁の地方消費税交付金1億5,400万円の減額は、当初は国も延びると予想していたが、12月時点での国の収入見込みが前年度より数%落ちている状況だった。給与所得が若干上がっているが、個人消費や企業の設備投資等はそこまで行っていない状況と思われる。

○鷺山喜久委員

88頁のふるさと応援基金繰入金について、寄附金総額6億2,000万でいろんな経費を除いて約2億8,600万円を積み立てとなっているが、この基金は有利な運用をしているのか。

●高柳総務部付参与

今回のふるさと応援基金は、この2月議会において基金条例と補正予算の議決を受けて基金運用していく。今年度末の基金残高が8千万円程度になるので、今後は出納局と連携してなるべく有利な運用に務めていく。

○鈴木久男委員長
以上で質疑を終了する。

第1款 議会費
〔議会事務局、説明 10:00 ～ 10:02 〕

〔質 疑 なし 〕

○鈴木久男委員長
質疑は無いようなので、以上で質疑を終了する。

第2款 総務費
〔行政課、説明 10:03 ～ 10:07 〕

〔質 疑 なし 〕

○鈴木久男委員長
質疑は無いようなので、以上で質疑を終了する。

第2款 総務費
〔管財課、説明 10:08 ～ 10:11 〕

〔質 疑 10:11 ～ 10:14 〕

○栗原通泰委員
スタンドグラス美術館の下にある掛川城公園駐車場の利用状況について。

●平松管財課長
その駐車場は元々は管財課の所管から別になったため状況が分からない。
地域支援課が所管なので、所管課より回答する。

○鷺山喜久委員
82頁の不動産売却収入について、当初の予算額と補正後の予算額では倍以上の差があるが、何が原因か。

●平松管財課長
当初の予算計上は見込額と売り払う場所が決定している箇所の合計額を計上した。その後、他にも売却が出来たので増額になった。実績で補正をしている。

○鷺山喜久委員
別の箇所も含まれているのか。

●平松管財課長
そうである

○鈴木久男委員長
以上で質疑を終了する。

第2款 総務費
〔市税課、説明 10:14 ～ 10:18 〕

[質 疑 10:18 ~ 10:22]

○栗原通泰委員

5頁の個人市民税の増額補正には農業所得が寄与しているようだが、分野などの分析はしているのか。

●松浦市税課長

農業所得の中身は税務署から市へ通知される確定申告書ではわからないため分析していない。

○二村禮一委員

116頁に関連して、ご当地ナンバーに変更している人の状況について。

●松浦市税課長

2月6日現在で50ccは69件、90ccは8件、125ccでは14件であり、全体登録者数の1.3%である。どちらかというとな配の方が変えている。また、新規ナンバーの50%がご当地ナンバーに変えている。

○窪野愛子委員

郵便局のバイクがご当地ナンバーだった。郵便局等への啓発はしているのか。

●松浦市税課長

市内でたくさんのバイクを所有している事業所には個別訪問している。郵便局には依頼をしたが、1月は年賀状等の配送で忙しいため、既存のバイクはまだ変更されていない状況である。

○鈴木久男委員長

以上で質疑を終了する。

第2款 総務費

[資産税課、説明 10:22 ~ 10:27]

[質 疑 10:27 ~ 10:28]

○二村禮一委員

7頁の固定資産税について、収納率を98.70%としているが、良い方なのか悪い方なのか。

●飯田資産税課長

収納率は例年の同じ収納率を見込み98.7%としている。

○鈴木久男委員長

以上で質疑を終了する。

歳入のみ

[納税課、説明 10:28 ~ 10:30]

[質 疑 なし]

○鈴木久男委員長

質疑は無いようなので、以上で質疑を終了する。

第2款 総務費

[企画政策課、説明 10:31 ~ 10:34]

[質 疑 なし]

○鈴木久男委員長

質疑は無いようなので、以上で質疑を終了する。

第2款 総務費

〔生涯学習協働推進課、説明 10:35 ～ 10:42 〕

〔質 疑 10:42 ～ 10:45 〕

○鷺山喜久委員

110頁の日中友好訪問団が行われなかったため皆減となったが、その理由は政治的問題なのか。

●都築生涯学習協働推進課長

蠟人形の関係で、進展が無かったため諦めた。去年は世界観光都市フォーラムが開催され、その時に浅井副市長と当時の鈴木環境経済部長が訪中している。その時に蠟人形の推進について、これまでは、博物館の前館長に話をしていたが、今回からは現館長に推進についてお願いしたところ、了解を得られたので、来年度以降、推進していきたい。

○窪野愛子委員

64頁のコミュニティ施設整備費補助金について、補助金が出る場所が違うということだが、区別する根拠はあるのか。

●都築生涯学習協働推進課長

これは、県の窓口の調整によるものである。市からは3地区の事業について補助金の採択を依頼したが、県の財源枠の調整により、1地区は振興協会の方で実施してくれと言われたため、今回補正した。

○鈴木久男委員長

以上で質疑を終了する。

第2款 総務費

第10款 教育費

〔文化振興課、説明 10:45 ～ 10:50 〕

〔質 疑 10:50 ～ 10:54 〕

○窪野愛子委員

昨年度あたりからステンドグラスの工房を実施するための候補地を考えていたようだが、現在の進捗について。

●富田文化振興課長

工房について、ステンドグラス美術館に近い場所として、竹の丸の敷地内、近隣を含めて調査検討している。

○内藤澄夫委員

鈴木先生の所ではまだ美術品を買っている。まだたくさん持っているようなので、情報として提供する。

●富田文化振興課長

鈴木政昭先生は、ステンドグラス美術館の関係で定期的に訪問して打合せ等を行っている。ステンドグラス、ステンドグラスに関する資料、様々な美術品等をコレクションしているようなので、先生の意向も伺いながら、今後も利活用を検討していきたい。

○鈴木久男委員長

以上で質疑を終了する。

第2款 総務費

〔IT政策課、説明 10:54 ~ 10:57〕

〔質疑 なし〕

○鈴木久男委員長

質疑は無いようなので、以上で質疑を終了する。

第2款 総務費

第8款 土木費(第3項4目、第4項6目)

〔地域支援課、説明 10:58 ~ 11:02〕

●松本地域支援課主幹

先ほど管財課の時に出了た質問に対して回答する。

掛川城公園駐車場の利用状況について報告する。4月から1月までの10か月、306日間で、合計で1万7,748台、1日平均は50台、58台駐車できるので回転率は0.86、利用時間は30分から2時間の間の利用が約87%、多い月では、5月は70台、8月74台となり、少ない月では、12月は30台という状況である。

〔質疑 11:03 ~ 11:15〕

○栗原通泰委員

178頁の海岸保全費について、散布面積は減らして実施したが、その後散布していない部分の実施についてどのようにしたのか。

●松本地域支援課主幹

必要がある部分としても、農作物の出荷等を配慮して一部実施しないところがあり、面積が減ることがある。

○栗原通泰委員

その部分をどのように対応したのか。

●西郷地域支援課みどり推進係長

5月18日に事前に中遠農林事務所、JAの関係者に立ち会いを依頼し、散布面積を当初40ヘクタールだったが、26ヘクタールに変更した。残りの面積は散布を行ってない。29年度に対応していきたい。

○栗原通泰委員

必要な面積を算出してそれに対する予算を計上した。その結果当年度では実施しないとなると、今後もその可能性があると思う。農作物は一年中作っているもので、そのことは当初から分かっていることだと思う。今後の実施方法を根本的に考えないといけないと思う。

●鈴木企画政策部長

散布を実施した部分と未実施の部分の対応については、方法を変更してでも当初の面積を実施しないといけないと考えている。県とも調整して29年度には補完をしていくが、次年度の時には、空中散布ができない場所も同じ年度内に、対応していきたい。

○窪野愛子委員

114頁のバス交通対策費について、10路線への補助金額が上がっているが、利用状況はどうか。

●松本地域支援課主幹

自主運行バスは例年通り、南循環線で希望の丘と病院が増えた影響で、若干増えている。補

正に影響しているのは、掛川大東浜岡線が大きい。学生1人が平日利用すると、往復で480人となる。少子化が大きな原因となっている。

○窪野愛子委員

つま恋が12月で営業を終了したが、満水線はそこまで運行していたと思うが、どのように鳴っているのか。

●松本地域支援課主幹

満水線は現在もつま恋まで運行している。従業員も働いているので、継続して運行している。

○内藤澄夫委員

空中散布について、薬剤はスミチオンを使っていると思う。倍率が高くないと、松くい虫などはほとんど死なない。普通スミチオンは1,000倍から2,000倍で使用する。しかし空中散布で使用するのはかなり濃い。そのため、残留農薬が残ってしまうので、農地があるところは使えない。年中野菜を作っているのだから、散布が出来ない。また、人体にも有害であり、住宅のあるところでは使えないと思う。抜本的に使う農薬を変える。地上散布でミストみたいな機械で蒔いたりする方法があると思う。しっかり考えて欲しい。

●鈴木企画政策部長

空中散布は当初40ヘクタールを26ヘクタールに変更した。散布方法ではなく地上散布の方法もあるので検討していきたい。

○内藤澄夫委員

公共交通について、掛川大須賀線について、約1年経過するが、おおよそ結果は出ている。基本的には、思わしくない結果になると思う。来年度以降はどのように考えているのか。

●松本地域支援課主幹

開始当初は利用人数が25人から26人で低迷していたため、時間変更等を行った結果、11月は35人となった。収支率は13.2%で夏休み期間を除けば目安となる15%になる。この路線は大須賀地区から掛川地区に直接来る重要な路線である。現状は学生専用としているが、普通の路線バスにしていきたい。大須賀地域を通っている秋葉中遠線については、袋井市や森町と補助をしていることや、事業者との調整が必要である。掛川大須賀線は多くの人に乗ってくれる路線にしていきたい。

○内藤澄夫委員

1年間は学生限定で実施したが、次は時間帯の制限も無く誰でも乗れるような形にしないと長続きしない。ぜひ考えて欲しい。

○鈴木久男委員長

以上で質疑を終了する。

第2款 総務費

〔市民課、説明 11:15 ~ 11:19 〕

〔質 疑 なし 〕

○鈴木久男委員長

質疑は無いようなので、以上で質疑を終了する。

第2款 総務費

第9款 消防費

〔危機管理課、説明 11:20 ~ 11:24 〕

〔質 疑 なし 〕

○鈴木久男委員長

質疑は無いようなので、以上で質疑を終了する。

第9款 消防費

〔消防総務課、説明 11:25 ～ 11:30 〕

〔質 疑 11:30 ～ 11:36 〕

○栗原通泰委員

187頁の消防広域化推進費の(1)の減額補正について、協議会で算出されたものを予算化していると思う。その結果で減額になるのはどのような理由か。

●今駒消防総務課長

磐田市、袋井市、掛川市、御前崎市、菊川市の5つの消防本部が協議会方式で運営している。予算は磐田が行っている。修理費や復旧費や大きな災害用の予算として多く見積もっているため、決算では減額することになる。仮に大きい災害が出てしまった場合には、このだけの減額補正が出ないと思う。

○栗原通泰委員

災害に対する備えとして理解しているが、実際はこれでは足りない。それらも含めて算定した方が良いのか、それは別とた方が良いのか。その辺の見直しは必要ではないか。

●白畑消防長

この予算は今ある施設を最大限使用した場合の様々な使用料が大きくなると予想した場合の予算のため、これだけの差額が発生してしまう。

○窪野愛子委員

187頁の消防団員退職報償金が、88人受けたが見込みより退団の人が少なかったようで良いことだと思う。団員の人数が21人不足しているが、次年度の見込みはどうか。

●今駒消防総務課長

今のところ、3名程度増加する予定である。

○窪野愛子委員

市長の施政方針にも市の職員も導入していくと言っているが、市の職員も仕事の掛け持ちは大変だが、折り合いを付けて、訓練の見直しも行っていると思う。団員の声を聞くことも大事だと思う。地域密着の消防団であって欲しいと思う。

○鈴木久男委員長

以上で質疑を終了する。

〔討 論〕 鷲山喜久委員

反対の立場から討論する。

28年度一般会計当初予算も反対してきた経緯もあり、同時に軽自動車税の重税への条例改正にも反対してきた。結果的には、増額補正となっており、利用者にとっては重税になってきていることから、当初のとおり反対する。

〔採 決〕

議案第34号 平成28年度掛川市一般会計補正予算（第4号）について
賛成多数にて原案とおりの可決

休憩 11:40 ~ 11:45

[11:46 ~ 11:50]

②議案第38号 平成28年度掛川市公共用地取得特別会計補正予算（第1号）について

[管財課、説明 11:46 ~ 11:48]

[質 疑 なし]

○鈴木久男委員長

質疑は無いようなので、以上で質疑を終了する。

[討 論] なし

[採 決]

議案第38号 平成28年度掛川市公共用地取得特別会計補正予算（第1号）について
全会一致にて原案とおり可決

.....

[11:50 ~12:03]

③議案第16号 掛川市ふるさと応援基金条例の制定について

[財政課、説明 11:50 ~ 11:52]

[質 疑 11:52 ~ 12:02]

○栗原通泰委員

5条の繰替運用について、詳細を説明して欲しい。

●高柳総務部付参与

ここ数年ではこの運用は無いが、歳計現金が不足した場合、一時借入金を借り入れる場合があるが、その一時借入金を、金融機関からではなく市の基金を一部代用する場合の運用である。

○内藤澄夫委員

千葉県のあるところでは、ふるさと納税の8割の還元率を商品券として返しており、国会でも問題となった。掛川市も商品券などを考えていくのか。

●高柳総務部付参与

勝浦市は高い返還率であり、しかもその商品券をネットで転売している例もあり、問題となっている。昨年4月に、総務省からは換金性のあるもの、電化製品など、返還率が高いものは是正すべきとして通達が出たが、改善されていない所もあった。今までは、上限率の目安を出していなかったが、上限を出すことも視野に入れて検討するという動きもある。当市の場合は、返礼品は掛川市の農産物や特産品を主に実施しており、変更する予定はない。

○内藤澄夫委員

岐阜県の関市は刃物で有名のところであり、刀匠が作った刀を返礼品としている。500万円の寄附の人に、返礼している。場所によっては宝石を実施している所もある。徐々に競争になっており、寄附をするより、貰う方が主になってしまっているのが問題である。掛川市も特産品、農産物を実施しており大変良いことだと思う。しかし、商品券も掛川以外で購入出来ないわけだから、商売している人が恩恵を受けるなら1つの対策だと思う。

●松井市長

3年前に議会でふるさと納税を積極的に導入して展開するよという質問があった。それまでは、市長としては、趣旨に反している所が多い。趣旨というのは寄附をすることによって、ふるさとの振興発展に寄与するのが目的なのに、徐々にそうではない感じがした。しかし、いろんな自治体を実施する時に、掛川の農産物などを全国に販売ルートに乗って、広まっていくことは良いことだという考え方に切り替えて、進めるようになった。いずれにしても、高額のものには税金を払っている人ではないと寄附ができない。そうすると、お金を持っている人が換金したりして儲け話として行っている。多分、3年くらいで廃止になると思っている。その間は、掛川の農産物を含めて大々的に情報発信するように活用していくつもりで取り組んでいる。しかし、換金性のあるものは、可能な限り行わない方向で進めていく。ふるさと納税が愛着を持って支援していく思想が無くならないように、進めていきたい。

○窪野愛子委員

このような条例は他市でも制定しているのか。

●高柳総務部付参与

昨年の6月時点では、焼津市、島田市、湖西市、伊豆の国市、伊東市、伊豆市、沼津市、下田市が作っている。その後増えている可能性はある。

○鈴木久男委員長

以上で質疑を終了する。

〔討 論〕なし

〔採 決〕

議案第16号 掛川市ふるさと応援基金条例の制定について
全会一致にて原案とおりの可決

.....

[12:03 ~12:05]

④議案第40号 平成28年度掛川市簡易水道特別会計補正予算（第1号）について

〔水道総務課、説明 12:03 ~ 12:05 〕

〔質 疑 なし 〕

○鈴木久男委員長

質疑は無いようなので、以上で質疑を終了する。

〔討 論〕なし

〔採 決〕

議案第40号 平成28年度掛川市簡易水道特別会計補正予算（第1号）について
全会一致にて原案とおりの可決

.....

○鈴木久男委員長

以上で委員会を終了する。

4) 閉会 12:06